GAP手法の導入をおすすめいたします

おばこ米生産者のみなさん安全安心な米作りは「美しい作業場」から

GAPとは?

GAP(ギャップ)とは、Good Agricultural Practice 良い 無業の やり方

GAP

という意味です。まだ耳慣れない言葉だと思いますが、いわば、農業生産者が手に入れた**新しい手法**です。 農業生産を**工程管理**によりマネジメントする手法である GAPを主体的に用い、農場^{*}の管理および農業経営をいかに良くしていくか、 考えていきましょう。

*農場=圃場+施設

何をするのですか?

具体的には、日々の農作業が適正に行われているかを自己チェックし、 直すべき点は改善し、よりよい農業を実践していくものです。

適切な農場管理とその実践

- 1. 農産物の安全に関する適切な農場の管理
- 2. 環境への配慮に関する適切な農場の管理
- 3. 生産者の安全と福祉に関する適切な農場の管理
- 4.**農場経営と販売管理**に関する適切な農場の管理

 $1 \sim 4$ を実現するために、おさえるべき農場管理のポイント(農作業や、投入資材)を列挙したものがGAPです。

GAPは、

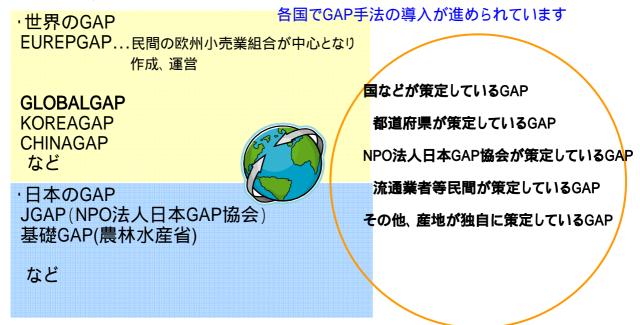
- 「農場管理の改善」と同時に「農産物の取引基準」としても使用される
- 「生産側と消費側が信頼関係を作るための枠組み」です。
- ·作物
- ·地域
- ·生產体系·生產環境
- ・農業者や産地が目指す方向

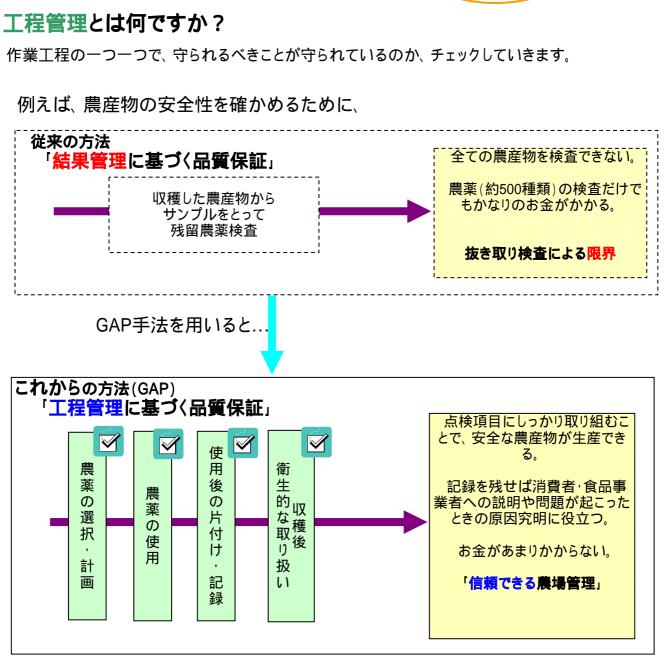
環境保全目的 輸出目的 品質向上目的

によってGAP手法は異なります。



GAPには、このような種類があります





どのような流れ・しくみになっているのですか

ただ、行うのではなく、改善点を見出して次に役立てるしくみになっています。



計画(Plan)

農作業の計画を立て、チェックリスト (点検項目)を定めます。

繰り返しが重要!

実践(Do)

チェックリストに従い農作業を行い、記録します。



PDCAサイクル

見直し・改善(Action)

改善点を見出し、次回の作付けに 役立てます。



点検·評価(Check)

記録を点検・評価し、改善できる部分を見つけます。



チェックリストで確認する事により、「うっかり忘れ」が防げます。 記録した結果を次の作付け計画に反映できます。

改善内容の例として

堆肥を使用することにより化学肥料の量を減らせるかもしれない

病害虫の発生予察情報を読んでおくことにより農薬を使わずにすむかもしれない

肥料・農薬等の記帳管理により余分な資材購入を控える事が出来るかもしれない

コストが削減でき、環境にも優しい米づくりに近づくことができます!



難しそう…わたしにもできるのでしょうか?

何か特別で難しいルールづくりや複雑な工程管理を想像して、「とてもできそうにない」と思われるかも知れませんが、そんなことはありません。 実はみなさんが普段行っていることと、共通するものが多くあります。 例えば・・・

肥料・農薬の管理、作業時の装備、作業場の清掃、生産履歴記帳、農業機械のメンテナンス等

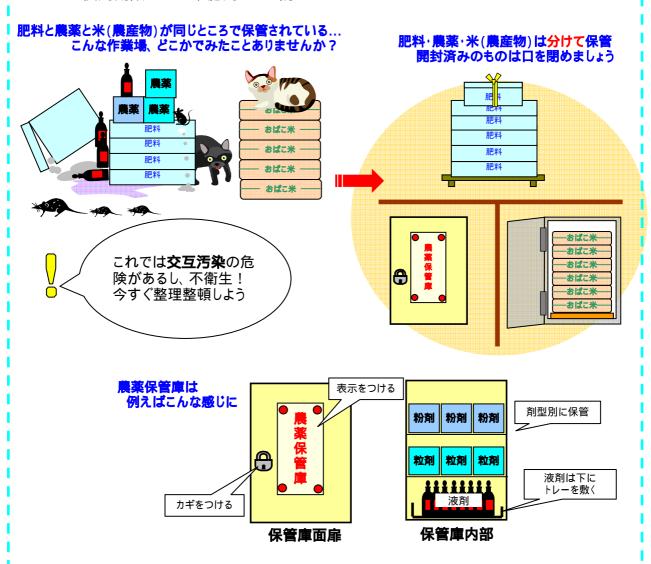
例)肥料・農薬の管理

農薬・肥料と農作物を別々の場所に保管しているか 農薬・肥料・農作物の交差汚染を防止する

農薬・肥料の保管場所や管理方法は適正であるか 肥料は軒先に野積していないか 害虫・害獣の被害にあわないようにしているか 農薬は施錠できる保管庫に保管しているか、また 種別(殺菌剤・殺虫剤・除剤 等)・剤型別(粉剤・液剤・フロアブル剤 等)に 整理しているか

農薬・肥料の劣化・コンタミおよび誤用を防止する

肥料・農薬は購入や使用の毎に在庫量を記録しているか 使用期限チェック、施用ミスの防止



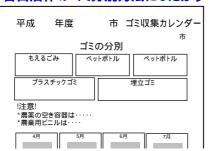
農薬・肥料を使用したら残量チェックして記帳 使用期限もチェック

剤名	用途	購入年月日	購入数量	使用年月日	適用作物	使用量	散布面積	残量	備考	
フロアブル	いもち病	2008.7.20	3本	2008.8.3	稲	1000ml	2.0ha	500ml		
				2008.8.4	稲	500ml	1.0ha	-	在庫ナシ	
W	カリ / こ 米百		类		Ιπ	l.a	2.06.0	l.a		
<u> エース</u>	<u>カメムシ類</u>				稲	<u>kg</u> ka	2.0ha 1.0ha	kg ka		
					<u>稲</u> 稲	ka ka	1.011a	kg ka	残り分使用期限	
					115	<u>ny</u>		<u>ny</u>	2010.10.3	
・・・・残量はこれだけか!										

使い終わったあとの農薬の空き容器や 肥料袋の処理も

ſ	剤名	用途	購入年月日	購入数量	使用年月日	適用作物	使用量	散布面積	残量	備考
Ш	フロアブル	いもち病	2008.7.20	3本	2008.8.3	稲	1000ml	2.0ha	500ml	
Ш					2008.8.4	稲	500ml	1.0ha	-	在庫ナシ
Ш										
Ш					2008.12.1		空き容器3	本をJAの[回収に出し	た

各自治体のゴミ分別方法にしたがう 最寄りJAでの農業用廃資材回収日を把握





□収する廃資材 農薬空き容器・肥料袋・使用済みマルチ・・・

12月4日

回収上の注意



回収日は…なるほど 営農センターまで もっていくんだな...

GAPを導入することで どんなメリットがあるのですか?

上にもあげましたように、GAPを導入することにより

食品安全の確保

環境保全

生産コストの削減

品質の向上

といった効果が得られます。

とはいえ、日本でのGAP導入状況はまだ低く、また生産者のみならず消費者・食品事業者による GAPの認知度がそれほど高くないのが現状です。

消費者・食品事業者の方にGAPを理解して頂き、自分たちの作った農産物を選択してもらうためには、GAP自体やその取り組み状況を情報として消費者・食品事業者に示すなど、生産者・産地が積極的に進めることが基本です。

GAPへの取り組みは、誰かに「やらされ」るのでは意味がありませんし、長続きしません。

あくまでも生産者の皆様が、GAPの必要性を理解し、**自主的・積極的・恒久的に取り組む** ことが、何よりも重要です。





安全安心な米作りは「美しい農作業場」から! 生産者各自の工夫でよりよい農業の実践をめざしましょう!

GAP導入の第一歩として、まずはすぐにできること

作業場の整理整頓から

はじめましょう!



